

## 「地域住民と地域医療」

「向う三軒両隣り」という言葉が忘れられようとしている昨今、「独居老人」とか、「孤独死」とかの活字に出会うことが増えているような気がします。井戸端会議も最近見られなくなり、何となく私共居住地域に活気が乏しくなっているような気がするの、私の歳のせいでしょうか。あまり他人のことに口出しはしない（関心はあるんでしょうが?）、なるべく火の粉はかぶりたくない、要するに知らん顔しているのが無難だ、と考えている人が多いのではないのでしょうか。

こんな世の中で、老人家族で、独居老人で、怪我だ病気だとなれば大変なことです。隣近所にすぐに頼んで助けてもらうには、常日ごろのおつき合いがない、あまり心やすくない、こんな関係で大変困ったという話を聞いています。私の知る範囲のなかに救急車

を呼ぶ方法も知らなかった老人もいました。「そんな馬鹿な」とお笑いかもしれませんが、事実です。これほどでないにしても、老若、硬軟いろんなタイプの人間模様の織りなす地域社会において、医療機関の必要が生じた時の選択は、となるとこれがまた大変むづかしいことです。

「いつでも、誰でも、どこでもが地域医療の本質だ」とある先生が言っておられますが、その医療機関に巡り逢うのは大変なことだと思います。幸いなことに私どもの地域に京都南病院があり、「三本の柱」を標榜して全職員が努力を傾注し、「新病院建設の一時中断」という事態に対しても、捲土重来を期して頑張っておられる毎日に、大いに期待しているところです。「大学医療は第一級だが、地域医療は第一線だ」とも

言われていますが、第一線を守ることは簡単なことではないことは私ども素人にも分かる気がします。分かればこそ期待も自然大きくなるというものです。

皆さまがたのご健斗を心から祈念いたしています。

南健康会会長 細谷 邦祐





## 特集

# 褥瘡(床ずれ)対策の現場

以前私が民間企業にて担当していた米国福祉用具メーカーの友人の取り計らいで、本年4月30日、ニューヨー

ク州の西部バッファロー市にある急性期医療を提供する病院を2施設訪問することができましたので、ご報告します。

## 日本よりも10年以上進んでいる褥瘡対応

企画室 室長  
廣松 哲生

今回は褥瘡(床ずれ)対策の現場ということで、最初に訪れたセント・ジョセフ病院でICU(集中治療室)を見学。また次に訪問したバッファロー総合病院の病棟で褥瘡対策リーダーから、対応状況の説明を受けることができました。

全米では200万人前後の方々が褥瘡で困っているようです。しかしその対応姿勢は日本よりも10年以上も進んでいて、例えば今回訪問したような急性期医療を担う病院で褥瘡発症となろうものなら、患者さまやそのご家族の方から「ケアを怠っているのではないか!」と訴訟にもなりうるため、少しでも褥瘡のリスクのある患者さまには、体圧分散マットレスをベッドに設置するなど、かなり神経質なくらい褥瘡対策をとっていました。

(今回訪問したバッファロー市は、ナイアガラの滝を境にカナダに隣接しています。カナダ側の病院では、医療訴訟がそれほど多くないのか、米国ほど神経質ではないとのこと)

### 1. セント・ジョセフ病院



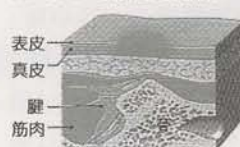
セント・ジョセフ病院

セント・ジョセフ病院は、ニューヨーク州西部地区の中核医療組織カトリック・ヘルス・システム(CHS)グループに属する急性期病院で、160床(ICU14床)の規模でした。

ここでは、ICU(集中治療室)に入る患者さまは褥瘡発症のリスクが高いとの理由から、14床全てにステージIV(下図)まで対応できる体圧分

褥瘡(床ずれ)症状の程度による分類：ステージI~IV

NPUAPの深さの分類



ステージI

真皮層までおよんだ潰瘍



ステージII

皮下脂肪までおよんだ潰瘍



ステージIII

筋・骨までおよんだ潰瘍



ステージIV

一般的に褥瘡対応マットレスは、それぞれの症状に合わせて作られています。







写真1  
ICUベッドに常時設置された褥瘡対策用体圧分散マットレス

散マットを常時設置していました。従来は褥瘡になる可能性の高い患者さまだけ、レンタルで空気圧切り替え式の体圧分散マットレスを用意していたものの、その手配や設置にかかる手間が効率が悪くなるとの判断で、常時体圧分散マット(写真1)を設置することになったそうです(米国の急性期病院は、平均在院日数が12日と非常に在院期間が短い)。

## 2. バッファロー総合病院

次に訪問したのは、全米で39番目の規模、カレイダ・ヘルスグループに属する急性期病院のバッファロー総合病院です。ここは総合病院というだけあってその規模は大きく、16階建てのビルに全部で800床(ICU60床)ありました。



バッファロー総合病院

ここでは“褥瘡リスクあり”と判断された全ての患者さまに使い捨てのエアマットを配置していました。褥瘡対策リーダーの看護師、リン・コルダシービックスさんの説明によると、例えばICUから通常の病棟へ、そして退院後もそのまま同じエアマットを自宅まで持って帰っていただき、在宅でも褥瘡にならないよう指導をしているとのこと。実際に病棟でマットを使用されている患者さまの写真を撮ってきていただきましたが、(プライバシー保護の点から、部外者が写真を撮ることは許されません)結構体重がありそうな方でも、このエアマットで対応できているのが分かりました。

この病院では、さらに在院日数が短く平均在院日数7~8日で、日本では2~3週間入院する人工股関節置換術で3日間、また心臓オープンサージェリーで4~5日間とびっくりするような短さでした。日本でも病院の機能分化(急性期と療養型)が言われているわけですが、やはり急性期を担う病院では、米国ほどではないにせよ平均在院日数が短くなる傾向にあるようです。

以上1日だけでしたが、ゴールデンウィークの休暇を利用して、米国の病院における急性期病院を見学し、褥瘡対策の実態を勉強することができ、今後の当院のあり方を考えるうえで大変参考になりました。

## 褥瘡一口メモ

### 1. 褥瘡とは?

骨突出部に強い圧力を短時間、あるいは弱い圧力を長時間加えることにより、皮膚および皮膚組織、骨隆起を覆う筋肉などの虚血性の障害とそれに続く壊死のことをいいます。

### 2. 褥瘡の原因

加齢による皮膚機能の低下、寝たきりによる摩擦やずれなどのほか、脳神経系の疾患、栄養状態の悪化、運動能力や知覚の低下などがあります。

### 3. 褥瘡の予防

#### 【体位変換をする】

同じ体位を長時間続けると、圧迫により血液循環障害などのさまざまな障害をひき起こします。体位変換は、筋肉の拘縮を予防したり、肺の拡張促進にも効果的です。

#### 【エアマットの使用】

エアマットは、個々に空気量を調整でき体圧を変えることができるため、体圧分散効果も期待できます。

#### 【皮膚を清潔にする】

尿や汗などにより、皮膚が湿っていると褥瘡ができやすくなります。毎日、全身の皮膚を清拭し、清潔に保つ必要があります。寝具類も清潔なものを使用します。

#### 【栄養をとる】

栄養不足も褥瘡発生の原因となります。寝たきりの高齢者では、栄養体力の低下があると、一夜で褥瘡が発生することもあります。経口摂取が可能な場合には、好きな物を経口摂取します。咀嚼しやくは、精神的な回復にも効果的です。



# 熱中症にご用心

● 外科 医師

相馬 祐人

熱に中(あた)ると書いて熱中症。高温下で起きる体の障害の総称です。真夏の炎天下よりもむしろ、梅雨の合間に突然気温が上昇した日や梅雨明けの蒸し暑い日など、体が暑さに不慣れな今ごろに多く起こります。

めまい、失神、脱力感、倦怠感、頭痛や吐き気などの症状があり、熱射病と呼ばれる重症型では体温の上昇のため脳に異常をきたし、意識障害(応答が鈍い、言動がおかしい、意識がない)を伴います。熱射病は呼吸不全、肝不全、腎不全、といった多臓器不全を合併し死亡することがあるため緊急治療が必要になります。毎年全国で約100人が熱中症で亡くなっており、体温調節機能の衰えた高齢者はもちろんのこと、乳幼児を車の中に放置したり、学校で無理に運動させたりして起こる事故



が絶えません。昨年は京都市内の高校の体育祭で熱中症が集団発生し、当院も多数の生徒を収容し診療しました。わざわざ真夏に催される一般向けのマラソン大会もあり、出場した人間が言うのもなんですが狂気の沙汰です。

帽子をかぶり直射日光を避ける、暑いときに運動しない、こまめに水分補給するなどの予防が第一です。熱中症を疑ったら涼しい場所に運んで寝かせ、衣服をゆるめて水分を飲ませましょう。それだけで通常は回復します。吐き気が強く水分が飲めないときは病院で点滴を受ける必要があります。意識障害があるときは、体を冷やしながら一刻も早く病院に運びま



しょう。

熱射病では、いかに早く体温を下げるかが予後を左右するため現場での応急処置も重要です。全身に水をかけて仰ぎ、気化熱によって熱を放散させるのが最も効果的です。このときかける水は冷たくなくてかまいません。大きな血管が通っている頸部、脇の下、脚の付け根を直接アイスパックで冷やすのもよいでしょう。

## 熱中症にかかったら…



涼しい場所に運んで寝かせ、衣服をゆるめておおぎぎましょう



意識があれば水分の補給をします



水やアイスパックなどで全身の体温を下げます



意識障害があるときは一刻も早く病院に運びましょう



### 痔は生活習慣病？

毎日のランニングは私たちに快便・快食・快眠という大きな健康の証を与えてくれます。

走り始めると便意を催すことがたびたびありますが、これは走ることにより腸の動きが活発になり、大腸にたまった便が直腸まで運ばれるからです。また、排便時に肛門からの出血を経験された方も意外に多いのではないかと思います。出血は部位が肛門に近いほど赤く、上部になるほど黒くなります。鮮血が見られる場合の多くは「痔」が原因ですが、時には大腸ガンの可能性もあります。

痔は痔核・裂肛・痔ろうに分けられ、半分以上は痔核です。痔核[いぼ痔]は直腸肛門周辺の痔静脈の圧が高くなり、うっ血してこぶ状になったものです。肛門内部にできれば内痔核、外部にできれば外痔核といい、内痔核は痛みが少なく出血がみられ、外痔核は出血が少なく腫れると痛みがひどくなります。裂肛[切れ痔]は硬い便によって肛門上皮が裂けた状態で、痔ろうは細菌感染が原因で腫れて膿が出てきています。ともに痛みが強くと時には出血もともないます。

### 痔になりやすいのは、こんな人

痔は生活習慣病とも言え、日常生活での肛門部への負担圧迫が大きな原因のようです。長時間同じ姿勢だったり、便秘時の強いいきみ、また下痢も要因になります。下痢便は肛門部の炎症を引き起こし、たび重なる刺激

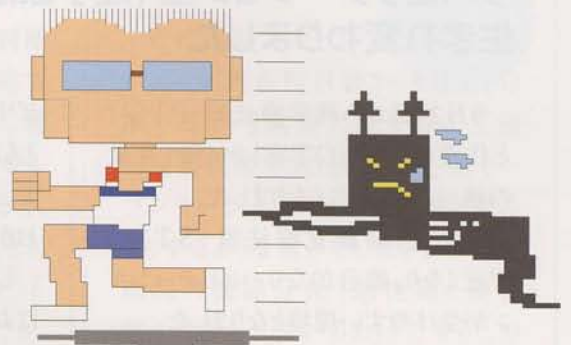
が肛門に負担をかけるのです。その他、腹圧をかける力仕事や激しい運動、出産も痔静脈の圧を上げ、痔核を悪化させます。さらにアルコールや香辛料の取りすぎも出血や腫れを増強させます。体質や老化によっても肛門部の支持組織が弱まり、痔核が肛門外に出やすくなります。

### 軽いランニングは予防に役立つ

予防は、第一にお尻を温め常に清潔にしておくこと。それには毎日の入浴で肛門部の血行をよくし、排泄後はお湯で十分洗い、乾燥させ細菌感染を防ぎましょう。温水洗浄便器の使用も極めて効果的です。(あえて大便?させていただけます。隠れ「痔」の方のためにもぜひ温水洗浄便座の取り付けをお勧めします)

次に、腹圧をかけないことです。強いいきんで無理やり便を出す習慣をやめ、排泄時間をできるだけ短くし、お腹に力のかかるスポーツや力仕事などを控えましょう。軽いランニングはむしろ下腹部や肛門部の支持組織を強化し、痔の予防にも大いに役立ちます。

その他には、便秘や下痢を防ぐために規則正しい生活を送ること。そして軟便になるような食物繊維や飲料水を多く摂り、バランスの取れた食生活と



適度な運動で腸蠕動を亢進させ、便秘を解消させましょう。決して便意を我慢してはいけません。忙しくてもトイレタイムを確保することです。また、時には肛門部や太ももにただれができ、軟膏塗布が必要になることもあります。激しい痔の痛みには、温浴、軟膏、座薬、鎮痛剤など使用し、脱肛を伴う重症例では手術治療も必要となってきます。肛門部の出血、痛みは自分で「痔」だと思い込むのは極めて危険です。その中にガンが潜んでいる可能性もあり、一度は必ず専門医を受診し、正しい診断のもとに安心してランニングを楽しんでいただきたいと思います。





## リハビリテーション室（理学療法室と作業療法室）が生まれ変わりました

5月24日から理学療法室（PT室）と作業療法室（OT室）が4階（食堂の横）に移り、広くなりました。

また、言語聴覚療法室（ST室）が近くなり、総合的なリハビリテーションが受けやすい環境となりました。

今まではPT室とOT室は地下にあり、窓も少なく、日もほとんど当たりませんでした。広さも制限されていて、患者さまには混雑をした中を、隣の患者さまに気を使っていたきながら、リハ

ビリテーションを受けていただいたこともありました。今まで環境の面において、患者さまにはいろいろとご迷惑をおかけしてきました。

しかし、このたび4階に移転したことにより、明るく開放的になり、窓を開ければ風も入ります。患者さまには好評（もちろん、リハビリテーションスタッフにも好評）で、今までよりも快適な環境下でリハビリテーションを受けていただけることと思います。

さらに、より生活に密着したリハビリテーションを受けていただくために、和室での生活や調理することも想定し、訓練ができる設備も取り入れました。この部屋は眺めも良好です。

ただし、以前に比べると受付からリハビリテーション室が遠くなり、またアクセスにも不自由をおかけするこ

ともなりますが、ご協力・ご理解のほどよろしくお願いいたします。

一方、社会的な面では、厚生労働省によるリハビリテーションの施設基準のランク付けが行われています。これはリハビリテーション室の広さと理学療法士・作業療法士の働いている人数などで分類されています。このたび、その上位基準に京都南病院のリハビリテーション室が適合することになりました。

今後は環境面だけではなく、より一層技術・知識などを高め、より良いリハビリテーションサービスを提供できるように心がけていきますので、よろしくお願いいたします。

ところで、お昼前にリハビリテーションが終わった外来の患者さまや入院患者さまのご家族の方は、横の食堂にもぜひお立ち寄りください。（入院中の患者さまにはご利用いただくことができませんのでご了承ください）

リハビリテーション部長  
吉田 史佐男



## 本年4月「ぬくもりの里」は開設15周年を迎えました

15年前の1989年4月3日、ぬくもりの里が誕生しました。当時の下京区には、特別養護老人ホームなどの福祉施設は何ひとつ無い状態

で、老人には暮らしにくいところでした。

西大路学区連合会や南健康会のご協力もいただき、地域の期待を担ってぬくもりの里が生まれました。

そして同時に、この施設は、常に社会的弱者を守りながら、地域とともに歩んできた京都南病院の精神を受けて開設されたものです。

15年の歳月を経て、建物は古くなってきましたが、創立時の理念は生き続けています。

今、福祉や医療の世界には冷たい風が吹き荒れ、身を寄せる場の無い老人が増えてきています。老人やその介護者の幸せを守るため、私たちは常に向上心を忘れることなく、前進を続けたいと願っています。

施設長 川合一良

開設記念日当日、「開設記念祭」を開催し、職員によるアトラクションや入所利用者で編成されたぬくもり合唱団の合唱等が披露され、皆さんとともに開設を祝いました。





## 再配置計画が完了しました

2004年4月1日午前0時から新しいコンピュータシステムの導入で始まったオーダーリングシステムも無事に稼動し、また医薬分業も同時に開始となりました。患者さまには、新しいシステムにより受け付けの仕方が変わったり、診察券の入ったホルダーを持ってもらったりと大変ご迷惑おかけしております。なにぶん当院スタッフもはじめての経験で不安と期待のなかでの出発で、大きなトラブルもなく滑り出せたのが幸いです。さらに外来がところどころさま変わりして、患者さまにはまたまたご迷惑をおかけしております。今回の病院内再配置計画もほぼ完了し、ようやく病院内も静寂を取り戻しつつあります。



この再配置計画での一番の目玉は、なんとと言ってもリハビリテーション施設の充実だと思っています。場所が4階となり今までより少し遠くなりましたが、施設は広く、明るくなり患者さまもリハビリテーションにきっと意欲が出ると信じております。

また念願の外来診察室を一室増やすことができ、小児科と婦人科の待合室を増設することができ、耳鼻科の外来診察室を少し大きくすることもできました。このことによって、少しでも患者さまに診療を受けていただきやすくなるのではないかと考えています。なにぶん限られた中での再配置ですので、至らないことはたくさんあると思いますが、お気付きの点がございましたら、遠慮なく職員にお申し出ください。

この4月からの3ヵ月間大変あわただしく変更をしていくなかで、患者さまやそのご家族の方々にもご迷惑をおかけしたにもかかわらず、暖かく見守っていただきましたことを深くお礼申し上げます。またこの場を持って今回のさまざまな改革計画に尽力していただいた当病院内の職員一同にも心からお礼を申し上げます。みなさま本当にありがとうございます。

た。そしてこれからもどうぞご支援、ご協力よろしくお願い申し上げます。

院長 清水 聡



## 100歳 おめでとうございます!



お花や記念品ににっこり微笑む  
大谷ナツ工様



中川はる様の息子さんご夫婦

また15周年を記念して、日ごろから定期交流いただいている西大路小学校の全児童さんに記念品(園芸用品と文具)を寄贈させていただきました。(園芸用品については、現在西大路小で展開されている



「優しく穏やかな心を育てる取り組み」に協賛する形で、花の種・鉢・肥料を贈りました)

事務長 齊藤 史雄

## 編集後記

この号が発行されるころには、院内改修工事もひと段落していると思います。この改修工事の記録は南病院ホームページのほうにアップしてまいります。

現社会では、子供たちによる犯罪(小学生による痛ましい事件)など多数起こり、TVや新聞をにぎやかしています。残念ながらありますが事実です。イラク情勢など理解出来ないようなスピードで世界が動いています。

せめて自分たちの地域は、となり近所で理解しあい協力しあって生きていけるように常に心がけたいと思います。

広報誌「みなみ」は患者さまや地域のみなさま方に色々な情報をご提供できるように、努力してまいります。みなさま方の原稿や表紙を飾る写真など募集しておりますので、よろしく願いいたします。

企画室 広報担当 金山 浩久



# 外来医師担当表

色付きの外來は予約制です。

診療科	診察室	月	火	水	木	金	土	
新患	6	作 功一	新谷 泰久	新林 成介	古石 隆光	新林 成介	安藤 正昭	
	1	久保田和宏	原田 政吉	佐藤 宜正	鈴木 竜太	武澤 信夫	森 孝雄	
	2	久保田 忍	端 正史	久保田 忍	藤沢 明德	戸津崎茂雄	古石 隆光	
	3				新林 成介		外科)広間 文彦	
	5	佐藤 和美	藤本 行紀	高橋 進	山本 浩		交代制	
あさ	16	岡本三希子				岡本三希子		
	11	榎本 栄朗	寺脇 稔	山川 知之	池口 良輔	榎本 栄朗	柿木 良介 (手の外科) (9:30~)	
	10	廣瀬 裕二	佐々木敏雄	清水 聡	相馬 祐人	陳 明俊	清水 聡	
	18	中院 秀和	中院 秀和	佐藤 益子	中院 秀和	中院 秀和	中院 秀和	
	眼科 (11:30まで)	14	永原 誠子	沢村 恵	村上 智昭	永原 誠子	木村 徹志	渡部 大介
	婦人科	19	町原 充	町原 充	町原 充	橋本 良子 (9:30~)		町原 充
	耳鼻科	15		加藤 尚美	牧本 一男	加藤 尚美		加藤 尚美
	脳外科	3		横溝 大	幸地 延夫			
	泌尿器科	20	前田 康秀			前田 康秀	二階堂修 (11:30まで)	前田 康秀
	ひる	2	山本浩(心療内科) 2:00~		安藤 正昭 2:00~			
3		心療内科(初診のみ) 高橋 進完全予約	木村 繁男 2:00~		心療内科 高橋 進 1:40~	川合 一良 1:00~	心療内科完全予約 高橋 進 (1.3.5週)	
16			血液外来 清水 大介 2:00~					
11					術後外来 三上 勝利 2:00~			
6		アレルギー外来 井手山 矛 2:00~	高脂血症外来 久米 典昭 2:00~		アレルギー外来 井手山 矛 2:00~	健康管理外来 木村 繁男 2:00~		小児予約外来 予約検査 2:00~
18		予防接種外来 1:30~				予防接種外来 1:30~		
よる	1	交代	新林 成介		佐藤 宜正	新谷 泰久		
	2	古石 隆光	戸津崎茂雄 6:30~		端 正史	山本 浩		
	3	高橋 進						
	5		武澤 信夫		久保田和宏	藤本 行紀		
	16							
	11	寺脇 稔	榎本 栄朗		池口 良輔	寺脇 稔		
	10	陳 明俊	相馬 祐人		広間 文彦	佐々木敏雄		
	18	羽田 聡	荻野 行正		交代(6:00~)	中院 秀和		
	眼科	14			高木 均(6:30~)			
	婦人科	19				町原 充		
皮膚科	6	井手山 矛			井手山 矛			
耳鼻科	15	北尻真一郎				辻 純		
泌尿器	20	前田 康秀			交代			
形成外科	3				山脇聖子(6:00~)			

交替制の担当医は右記の医師となります 土曜日「あさ」の内科(3番)は第1,3週 佐藤宜正/第2,4,5週 山本浩

## 診療科目

内科/神経内科/消化器科/呼吸器科/循環器科/  
アレルギー科/心療内科/外科/整形外科/脳神経外科/  
リハビリテーション科/麻酔科/リウマチ科/形成外科/  
泌尿器科/肛門科/産婦人科/小児科/眼科/皮膚科/  
耳鼻咽喉科/放射線科

## 専門外来

糖尿病/アレルギー/血液/ペインクリニック・リウマチ/  
脳疾患リハビリ

## 診療時間

(月~土) あさ8:30受付 9:00~正午  
(月、火、木、金) よる5:00受付 5:30~8:00  
急患の方は24時間対応しています。

## 特定医療法人健康会 総合病院京都南病院

〒600-8876 京都市下京区西七条南中野町8  
TEL.075-312-7361 (代表)  
FAX.075-311-7965  
TEL.075-313-8318 (日、祝夜間)

## 周辺地図

